

2001年 9月 26日

カーギル・ダウ LLC
三井化学株式会社

カーギル・ダウと三井化学、 植物由来のグリーンプラ、ポリ乳酸の事業提携

カーギル・ダウ LLC(本社 :米国ミネソタ州、社長兼CEO :ランディ・ハワード)と三井化学株式会社(本社 :東京都千代田区、社長 :中西宏幸)は、本日、植物由来のグリーンプラ*¹ :ポリ乳酸 (PLA)の事業開発において提携することに合意し、契約を締結いたしました。

これは、PLAの商業化で世界をリードするカーギル・ダウと日本の代表的な化学会社である三井化学が、日本とその他の世界市場でPLAの市場開発を加速させることを目的としたものです。この契約により、PLAの用途開発に関する特許および技術情報の交換が両社間で可能になり、また、両社の顧客はカーギル・ダウあるいは三井化学が保有する幅広い特許について懸念なく事業を進めることができます。

さらに、三井化学はカーギル・ダウが生産するPLAの日本における開発および販売を独占的に行うことが可能になります。

カーギル・ダウ 社長 ランディ・ハワード :

「日本は、世界の中でPLAの開発が最も進んでいます。三井化学との契約は両社にとって理想的なものです。毎年再生することが可能な資源により、石油ベースの材料を置き換えていくという新たな産業革命への一歩となるでしょう。」

PLAは米国のコーンなどの植物由来の糖분을原料として製造される天然系の樹脂です。PLAは、醗酵と蒸留といった化学プロセスをベースに、重合により容易に製造されます。カーギル・ダウはポリ乳酸「NatureWorks™ PLA*²」を製造する設備を、世界最大規模でネブラスカ州ブレアに建設しています。設備は2001年末に完工予定であり、フル稼働時の生産能力は年産14万トンを達します。

三井化学 社長 中西宏幸 :

「三井化学にとって、PLAの世界的リーダーであるカーギル・ダウと本契約に合意できたことは非常に喜ばしいことです。カーギル・ダウと三井化学の専門知識・技術の相乗効果によって、PLA市場の拡大が加速されると期待しております。」

三井化学はパイロットプラントで生産した「LACEA® PLA*³」により、技術、市場の開発を行ってきました。LACEA® PLAを使って開発された材料・加工・用途技術は、カーギル・ダウが製造するPLAにも

適用できることを確認しています。三井化学はカーギル・ダウのPLAを用いて、LACEA®の名前でマーケティングを続けていきます。

現在、日本はPLAの開発と商品化において世界でトップの位置にあります。カーギル・ダウは、今後もカネボウ合繊(株)、(株)クラレ、三菱樹脂(株)、ユニチカ(株)には、NatureWorks™ PLAの供給を続けていきます。日本におけるPLAの用途は、包装容器、農業・土木、コンポスト関連、スポーツウェアや寝具製品などの繊維製品など多岐にわたります。

市場をさらに拡大していくために、カーギル・ダウと三井化学は協力して、PLAのライフサイクルアセスメントの検討を行っていくとともに、食品容器に使用できることを示すポリオレフィン等衛生協議会のポジティブリストにPLAが掲載されることを目指していきます。また、日本の生分解性プラスチック研究会が制定したグリーンプラ認証制度とロゴの普及、ならびに生分解性プラスチック認証の国際的な標準化に努めていきます。

1997年、ミネソタ州ミネトンカに設立されたカーギル・ダウは、毎年再生することが可能な天然資源由来のポリマー製品を、包装材料や従来の繊維に競合できるコストと性能で市場へ提供した世界最初の会社です。カーギル・ダウ独自のユニークな技術を糖類の加工に応用することにより、PLA製造へのブレークスルーに成功しました。ボトルの射出ブロー成型、発泡体、エマルジョン、中間化学材料などの用途に利用が期待されており、これらを含めて2010年には世界で450万トン/年の需要が見込まれています。

三井化学は、東京に本社をおく総合化学会社であり、石油化学品、基礎化学品、機能樹脂および機能化学品などを主たる事業としております。2000年度の連結ベースでの売上高は9,398億円、また営業利益は545億円です。三井化学は、戦略的事業開発単位としてLACEA® PLAの開発に注力し、製造・材料加工・用途技術のブラッシュアップにつとめ、市場開発を積極的に進めてきております。

- * 1 グリーンプラは日本における生分解性プラスチックの愛称です。
- * 2 NatureWorksはカーギル・ダウの商標です。
- * 3 LACEAは三井化学の登録商標です。

お問い合わせ先：

カーギル・ダウ
(日本)広報室長
紀本 和子
電話：03-5460-2201
(<http://www.cargilldow.com>)

三井化学
R・広報室長
須田 桂二
電話：03-3592-4060
(<http://www.mitsui-chem.co.jp>)